



## 共有する

タブレットを使うと、いろいろな情報を友だちと共有したり、まとめたことをわかりやすく発表したりすることができます。ここでは、タブレットを使って共有したり、発表したりするときに知っておくべきことや気をつけるべきことについて学びます。

### 最初にチェックしてみよう

- 私は、上手に友だちと意見を共有する方法を知っている
- 私は、友達と情報を共有することのメリットを説明できると思う
- 私は、チャットなどテキスト（文字）で伝えるときにどんなことに気をつければよいかを知っている
- 私は、グループチャットで会話を上手に終わらせることができると思う
- 私は、チャットで変なコメントを書かれたときに、どう対応すればよいかを知っている
- 私は、イライラした気持ちをだれかに共有するときに、リスク（危険性）を考えていると思う

タブレットを使うと、いろいろな意見をすぐに共有することができます。

あなたは、グループで、「りんごの<sup>とくちょう</sup>特徴」と「みかんの<sup>とくちょう</sup>特徴」をふせんに書き、共有することにしました。しかし、Aさん、Bさん、Cさん、Dさんには、それぞれ困ったことがあるようです。

上手に活用するために、あなたはどのようにアドバイスしますか。

他の人の意見が  
読みにくいな…

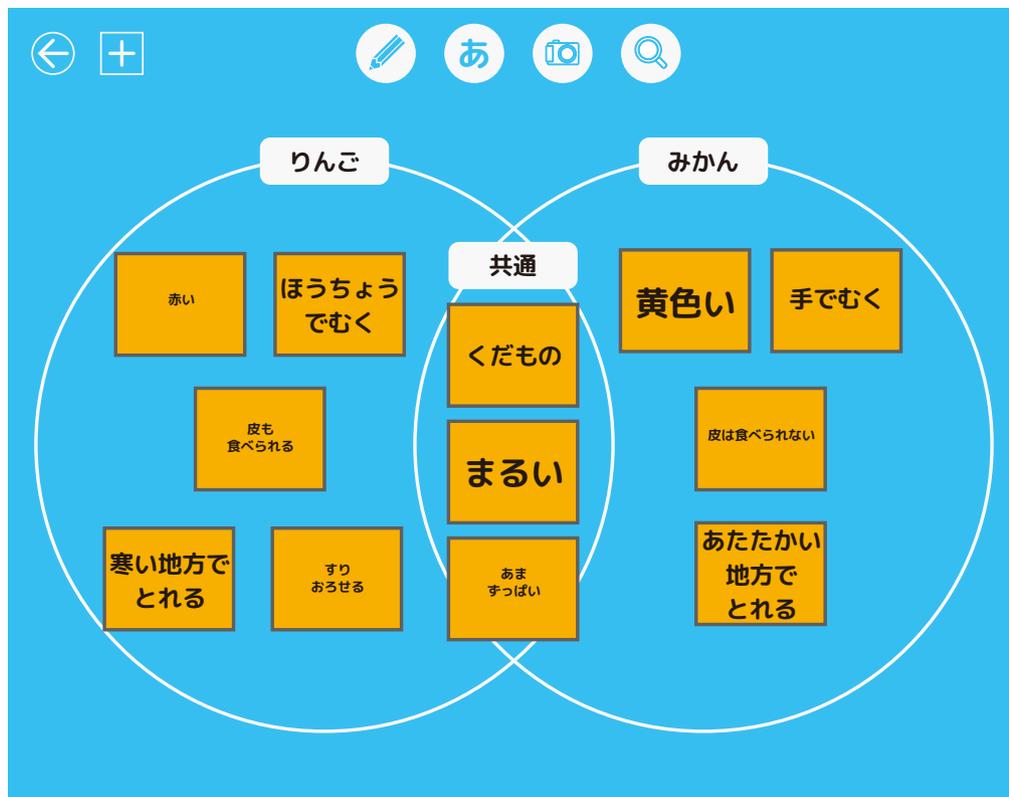


Aさん

間違えて、Aさん  
が書いたふせんを消しちゃっ  
た！



Bさん



どっちがりんご  
の特徴を書いた  
ふせんだったっ  
け？



Cさん

新しいちがいを  
思いついたけど、  
つけ足して書き  
ていいのかな？



Dさん



かいとうれい  
解答例

文字の大きさを  
そろえると見や  
すいよ

他の人の意見が  
読みにくいな…



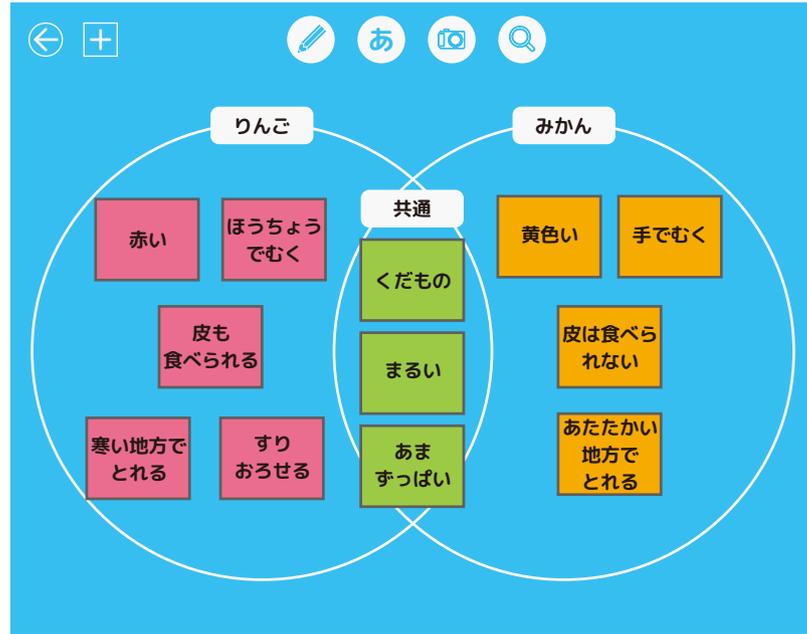
Aさん

もと  
元に戻せない時  
は、友だちに伝  
えた方がいいよ

間違えて、Aさ  
んが書いたふせ  
んを消しちゃっ  
た！



Bさん



どっちがりんご  
の特徴を書いた  
ふせんだったっ  
け？



Cさん

ふせんの色を変  
えるといいよ

新しいちがいを  
思いついたけど、  
つけ足して書い  
ていいのかな？



Dさん

新しい考えは、  
どんどん書き足  
した方がいいよ

★ スキルのポイント

タブレットを使うと、いろいろな意見をすぐに共有することができます。また、その場で思いついたことをどんどん書き足すこともできますが、上手に共有するためには、いくつかのポイントがあります。

例えば、同じ色のふせんだと、どちらの意見なのかわかりにくいので、意見によって色を変えてみるとわかりやすくなります。字の大きさも、他の人とそろえておくと、見やすくなります。

また、もし間違えて友だちの意見を消してしまった場合には、「履歴」や「元に戻す」ボタンで戻すこともできますが、もし戻すことができない場合には、正直に伝えて、もう一度書いてもらうようにしましょう。

問題を考える場合、他の人がどんなことを考えているのかを参照し、共有することは、様々なメリットがあります。子どもたちのコメントに、どのようにアドバイスをするか、線でつなげてみましょう。

1

他の人は、今、どんな問題に取り組んでいるのかな？



2

もう答えを考えついちゃってヒマだな



3

どのようにやればいいんだっけ？



4

この考え方であっているかな？



A

**改善**することが  
できるよ

他にもっとよい考えがないかを共有できる

B

**確か**めることが  
できるよ

どんな結果や考え方があったのかを共有できる

C

**すすみ**ぐあいが  
わかるよ

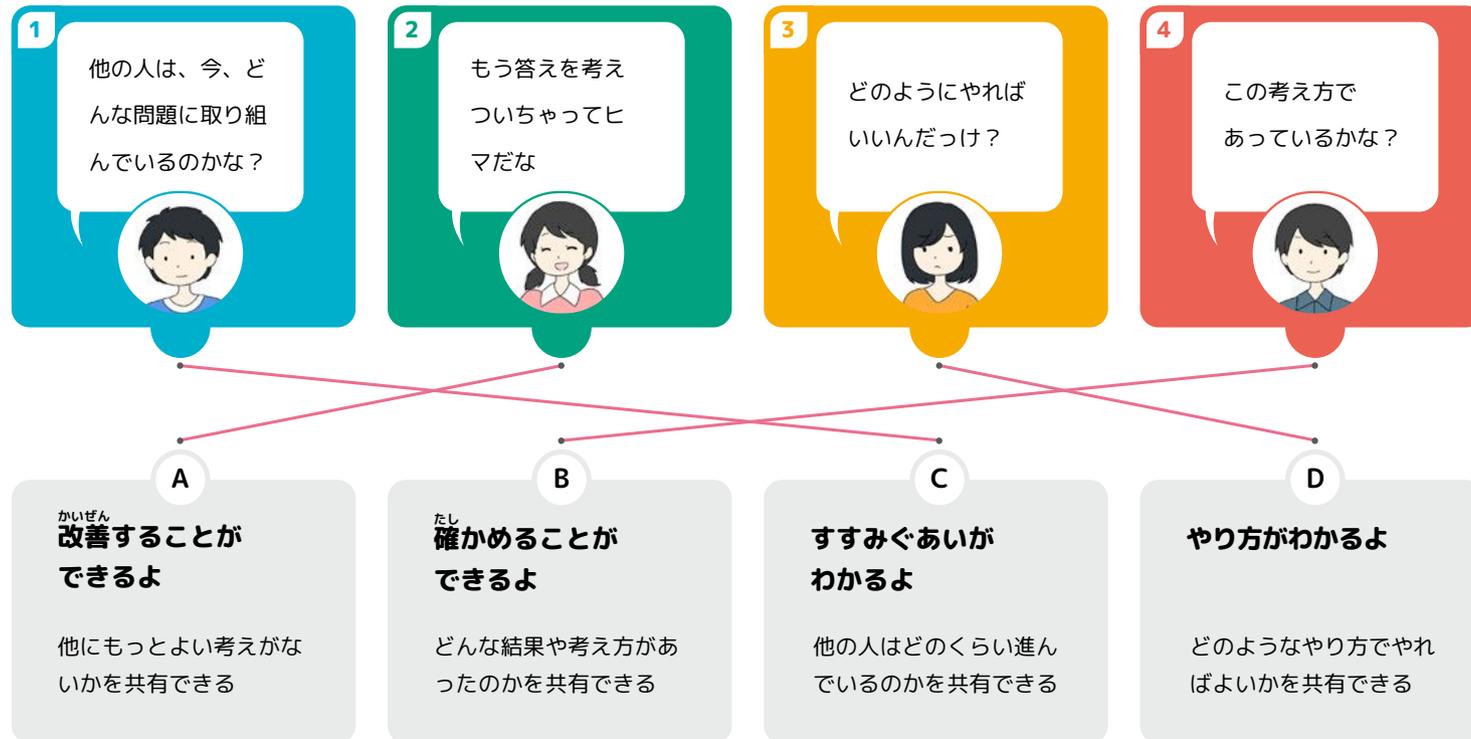
他の人はどのくらい進んでいるのかを共有できる

D

**やり方**がわかるよ

どのようなやり方でやればよいかを共有できる

せいまい  
正解



★ スキルのポイント

タブレットで他人の意見や考えを共有できることは、大きなメリットです。

自分の考えを改善したり、確かめたりすることができ、他人の進み具合や学び方を見ることができます。

しかし、便利だからといって、自分が考える前に、他人の意見を見てしまうと考える練習ができません。自分の意見や考えをよりよくするために、情報を共有してみましょう。



次の4つの伝え方について、あなたがほめられていると感じる順に並べてください。

1

口頭（対面）で笑顔で「まじめだね！」と伝えた

2

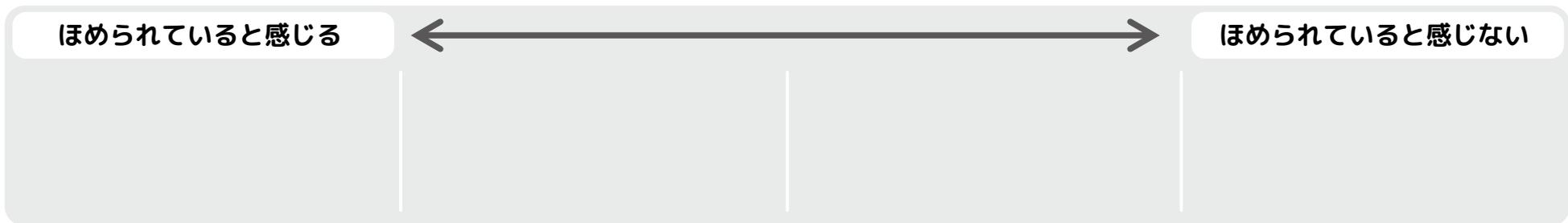
「まじめだね！（イラスト）」とメッセージを送った

3

「まじめだね」とメッセージを送った

4

「まじめだね！」とメッセージを送った





友だちと比べてみよう

## ★ スキルのポイント

口頭（対面）で伝える場合は、相手の顔の表情などから、相手の感情を読み取ることができますが、チャットなどのテキストメッセージの場合は、相手の感情を読み取ることが難しくなります。

同じ言葉でも「！」や「イラスト」を使うことで、自分や相手がどのように感じるのか、友だちと比較してみましょう。

また、例えば、お願いするときやあやまる時など、口頭（対面）で伝えた方がよい場面、テキストで伝えたほうがよい場面を考えてみましょう。

# メッセージをどう終わらせる？

これはあなたの<sup>ともだち</sup>友達とのグループチャットです。  
 もし、あなたがこのチャットを終わりにさせたいとき、どのように<sup>たいおう</sup>対応  
 しますか。  
 次の中から、一番近いものを選びましょう。

1  
 きどく  
 既読をつけたまま  
 何もしない

2  
 みどく じょうたい  
 未読の状態  
 何もしない

3  
 スタンプを送る

4  
 「明日話そう」  
 とメッセージを送る

5  
 たし  
 「確かに多いよね」と  
 メッセージを送る





1  
きどく  
既読をつけたまま  
何もしない

2  
みどく じょうたい  
未読の状態  
何もしない

3  
くら  
友だちと比べてみよう

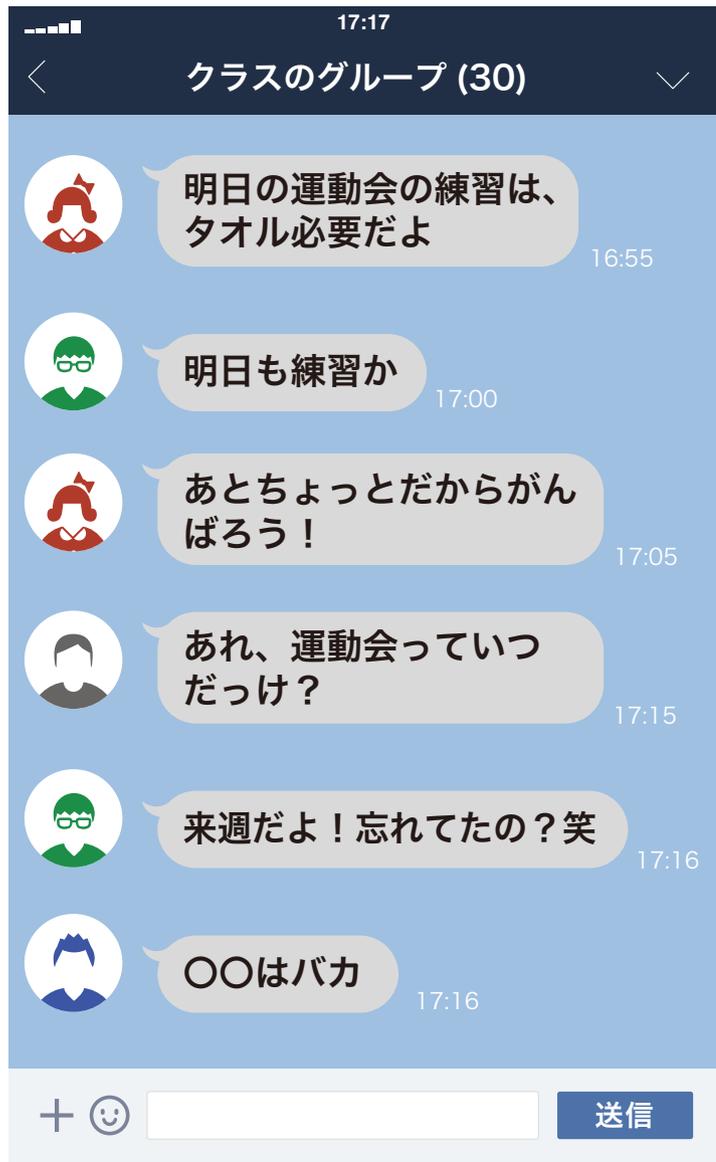
4  
「明日話そう」  
とメッセージを送る

5  
たし  
「確かに多いよね」と  
メッセージを送る

★ スキルのポイント

対面よりもチャットのほうが、「終わりにしたい」という気持ちが伝わりにくい場合があります。

もちろん、すべてのメッセージにすぐに反応しなければいけないわけではありませんが、「終わりにしたい」という気持ちのいろいろな伝え方を考えてみましょう。



みなさんのクラスのグループチャットに、「〇〇はバカ」という書き込みがありました。

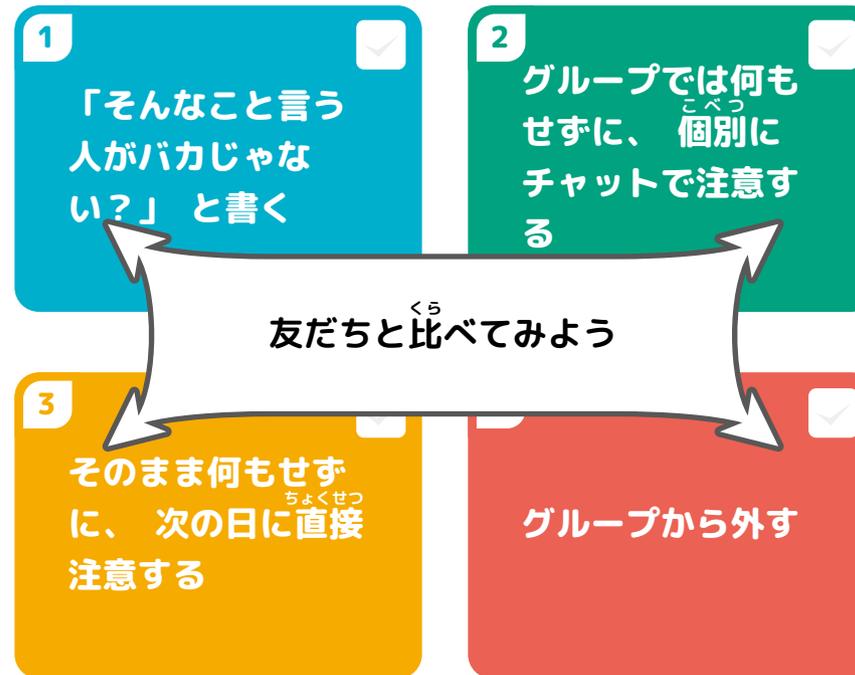
あなたは、どのように<sup>たいおう</sup>対応しますか。

1 「そんなこと言う人がバカじゃない？」と書く

2 グループでは何もせずに、個別にチャットで注意する

3 そのまま何もせずに、次の日に直接注意する

4 グループから外す



## ★ スキルのポイント

チャットを使うと、いつでも意見を共有することができますが、誰かを傷つけたり、自分が非難されたりするトラブルもあります。何か変なことを書き込まれた場合は、その場で書いた人を非難するようなコメントを書くと、相手と言いあいになってしまうこともあるので、まずは書き込まれた画面をスクリーンショットで保存し、少し時間をおいてから、個別のチャットや直接、注意するとよいでしょう。よりひどい書き込みがされた場合には、先生にも報告・相談するようにしましょう。

# きょうゆう イライラする気持ちをどこで共有する？

Aさんとケンカをしたあなたは、Aさんに対するイライラした気持ちをだれかに共有したいと思いました。  
次のところでイライラした気持ちを書いたときのリスク（危険性）を考えてみましょう。

1  
家族との  
チャットに書いた

2  
親友との  
チャットに書いた

3  
なかよともだち  
仲の良い友達との  
グループチャット  
に書いた

4  
クラスの人が見る  
SNSに書いた  
ただし24時間で自動的に  
メッセージが消える

リスク小  
問題はほとんどない

リスク中  
いやな気持ちになる人がいるかも

リスク大  
多くの人がいやな気持ちになる



1

家族との  
チャットに書いた

2

親友  
チャット

友だちと比べてみよう

3

この  
チャット

4

クラスの人が見る  
SNSに書いた

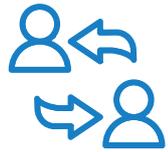
ただし24時間で自動的  
にメッセージが消える

## ★ スキルのポイント

ケンカをしてイライラした気持ちになることはだれでもあります、その気持ちをSNSで共有する  
ときには、注意が必要です。

SNSは、多くの人が見ることができますし、かんたんに内容を転送されることもあります。こうし  
たリスクを想像しながら、上手に気持ちを共有する方法を考えてみましょう。





共有する

## まとめ

### よき使い手になるために

タブレットを使って「共有」や「発表」を行う場合には、相手のことを意識する必要があります。どんな人がこの情報を受け取るのかを想像しながら、「どうすれば相手に伝わりやすいかな」ということを考え、工夫してみましよう。

### チェックしてみよう

- 私は、上手に友だちと意見を共有することができる
- 私は、友達と情報を共有することのメリットを説明できる
- 私は、チャットなどテキスト（文字）で伝えるときにどんなことに気をつければよいかを説明できる
- 私は、グループチャットで会話を上手に終わらせることができる
- 私は、チャットで変なコメントを書かれたときに、どう対応すればよいかを説明できる
- 私は、イライラした気持ちをだれかに共有するときに、リスク（危険性）を考えることができる



SNSでは、いろいろな情報<sup>じょうほう</sup>が文字<sup>えいご</sup>や映像<sup>きょうゆう</sup>で共有<sup>きょうゆう</sup>されます。これらは、文字<sup>えいご</sup>を目で見る、映像<sup>えいご</sup>を耳で聞くことで、その情報<sup>じょうほう</sup>を相手<sup>きょうゆう</sup>と共有<sup>きょうゆう</sup>できますが、最近<sup>さいきん</sup>では、「におい」を離れた人<sup>はな</sup>と共有<sup>きょうゆう</sup>する方法なども研究されています。これからの社会では、五感（目で見る・耳で聞く・口で味わう・鼻でかぐ・手でさわる）を相手<sup>きょうゆう</sup>と共有<sup>きょうゆう</sup>することもあるかもしれません。

## 考えてみよう①

今後、五感の中で、離れた人<sup>はな</sup>と共有<sup>きょうゆう</sup>されることはどんなことがあるだろうか。

## 考えてみよう②

もし、そうした情報<sup>じょうほう</sup>が他の人と勝手に共有<sup>きょうゆう</sup>されたら、どんな問題<sup>けんわ</sup>が起きるだろうか？